

広島県知事の湯崎です。

今日は、県の医療提供体制の強化についてお話しします。

6月23日時点で、入院・療養者はゼロですが、今後の感染拡大に備える必要があります。

国内で最も感染者が多かった状況を広島県を置き換えて試算し、ピーク時でも十分に  
対応できるよう、入院病床を320床まで、軽症者の方が療養するホテルを500室  
まで拡大し、患者数や感染状況に応じて運用してまいります。

さらに、人工呼吸器やECMOについても追加発注するほか、こうした専門的な機器  
を扱える人材の育成も進めています。

県では、コロナ禍で県民の皆様の生活と経済を両立するため、検査体制の強化と併せ、  
医療提供体制の強化にも取り組んでまいります。